

# 一般社団法人 日本多胎支援協会

Japan Multiple Births Association

## 第12回 通常総会 議案書

【日 時】 2021年6月26日(土) 15:30～16:00(受付開始15:20～ )  
【場 所】 日本多胎支援協会 事務局(オンライン)

### <次第>

- 1, 開会の言葉
- 2, 代表理事 挨拶
- 3, 議長選出・議事録署名人選出
- 4, 定数の報告
- 5, 議案
  - 第1号議案 2020年度(第12期)事業報告の件
  - 第2号議案 2020年度(第12期)収支決算報告の件
  - 第3号議案 任期満了による役員改選について
  - 第4号議案 2021年度(第13期)事業計画(案)の件
  - 第5号議案 2021年度(第13期)収支予算(案)の件
  - 第6号議案(追加) 会員種別と年会費変更の件
- 6, 議長解任
- 7, 閉会の言葉

一般社団法人  
日本多胎支援協会  
Japan Multiple Births Association

2020年度活動報告

月	事業（月日/開催地または開催方法） ◇：キリン福祉財団令和2年度計画助成事業 「どこでも安心して多胎児を産み育てられる環境づくりのためのステップアップ事業」 ◎：独立行政法人福祉医療機構(WAM)助成事業「明日から使える！多胎支援研修事業」 △：関連団体主催事業	通年
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商標登録出願(1日/特許庁)</li> <li>・ 業務執行理事会(5日/LINE)</li> <li>・ 第1回理事会(25日-26日/zoom)</li> <li>◎ 全体会議(25日/zoom)</li> </ul>	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務執行理事会(30日/zoom)</li> </ul>	
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回理事会(6日/zoom)</li> <li>・ 第11回通常総会(27日/zoom)《21名》</li> <li>・ 第1回リーダー研修会(21日/zoom/滋賀県長浜市「käsikäsij」)</li> </ul>	
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2回・第3回リーダー研修会(5日・19日/zoom/滋賀県長浜市「käsikäsij」)</li> <li>・ 液体ミルク調査発表会(15日/厚生労働省記者クラブ/日本産前産後ケア・子育て支援学会)</li> <li>△ 液体ミルクによる多胎家庭支援事業協力(15日-2021年7月/江崎グリコ社)</li> <li>・ 業務執行理事会(23日/zoom)</li> </ul>	
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務執行理事会(14日/zoom)</li> <li>・ 第3回理事会(30日/zoom)</li> <li>◎ 全体会議(30日/zoom)</li> </ul>	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「産前・産後サポート事業 活用推進講座」(5日/十文字学園女子大学・ウェビナー)《約500名》</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育て支援者研修会(3日/zoom)《3名》</li> <li>・ 業務執行理事会(31日/zoom)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JpMBA NEWS発行 (No.64~66+号外)</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務執行理事会(2日/zoom)</li> <li>・ 母子保健・子育て支援行政担当者、子育て支援団体等向け講座「多胎妊産婦支援の事業化をめざして」(14日/zoom)《9名》</li> <li>・ 日本こども虐待防止学会第26回学術集会 いしかわ金沢大会(28-29日/石川県・オンライン) 公募シンポジウム「多胎家庭の虐待未然防止について～地域で多胎家庭を孤立させない取り組みについて考える」《30名》</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPの更新</li> <li>・ 情報提供</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ WEB研修会開催(質疑応答講座:2日・8日・19日/zoom)</li> <li>・ 業務執行理事会(23日/zoom)</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第4回理事会(10日/zoom)</li> <li>△ 多胎支援研修会講師派遣(21日/東京都武蔵村山市 子ども家庭部)</li> <li>△ 日本双生児研究学会(23日/オンライン) シンポジウム「新型コロナ禍のふたご/みつご子育て状況-学会アンケートから描きだされた危機」</li> <li>△ 「妊娠・出産包括支援事業研修会」講師派遣(28日/zoom/長崎県こども政策局こども家庭課)</li> </ul>	
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母子保健・子育て支援行政担当者、子育て支援団体等向け講座「多胎妊産婦支援の事業化をめざして」(11日/zoom)《6名》</li> <li>△ 多胎支援研修会講師派遣(12日/神奈川県川崎こども未来局こども支援部)</li> <li>△ 令和2年度埼玉県妊娠・出産包括支援事業「多胎妊産婦等支援に関する研修会」講師派遣(19日～オンデマンド配信/埼玉県)</li> <li>△ ピアサポーター養成講座(第1日目/16日/zoom/広島県広島市「ピーナッツ・フレンド」)</li> <li>・ 「ツインズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)</li> <li>◎ 事業評価会(20日/zoom)</li> <li>△ 子育て支援者研修会講師派遣(26日/zoom/香川県高松市「子育てネットひまわり」)</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 新HP公開(3日)</li> <li>・ 業務執行理事会(6日/zoom)</li> <li>・ 第5回理事会(14日/zoom)</li> <li>・ 「ピアサポート事業支援講座」(26日/zoom)《3名》</li> <li>◇ ふたごポケットブック「NO.2」「NO.5」「ふたご・みつご子育てガイドブック」発行(31日)</li> <li>◎ 事業報告書配布</li> </ul>	

## 第2号議案

## 2020年度(第12期)収支決算報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2020年度予算	2020年度決算		備考
		収益外	収益事業	
会費収入				
正会員会費	350,000	290,000	0	10,000円×29名
賛助会員会費	355,000	273,000	0	団体会員12、多胎家庭44(46口)、一般会員3
会費収入小計	705,000	563,000	0	
助成金収入	1,000,000	1,000,000	0	(公財)キリン福祉財団
	7,038,000	7,038,000	0	(独行)福祉医療機構(WAM)
賛助	600,000	870,000	0	
冊子収入			301,070	
雑収入	420,000	102,100	0	依頼講座謝金
過年度損益修正益		15,000	392,978	過年度損益修正 & 部門変更
参加費収入	487,500	85,000		自主講座受講料
受取利息	10	8	0	
収入合計	10,250,510	9,673,108	694,048	

支出の部

項目	2020年度予算	2020年度決算		備考
		収益外	収益事業	
I, 事業費				
旅費交通費	1,955,000	8,380	0	
通信費	280,190	816,662	26,320	WAM(報告書送付)、冊子送付他
謝金	1,476,311	2,739,680	0	WAM(撮影協力・講師・執筆他謝金)、自主講座講師謝金
会場借料	915,000	0	0	
制作費	643,100	873,290	1,003,200	WAM(動画、報告書制作)、キリン(ポケットブック、ガイドブック)
消耗品費	186,300	98,718	1,215	WAM(プリンターインク、用紙他)、ラベルシール他
会議費	30,000	1,589	0	弁当
支払手数料	3,080	17,370	1,320	WAM、冊子制作費支払い他
賃金	246,000	0	0	
雑役務費	201,200	491,975	0	WAM(ZOOM・Google利用料、イラスト購入他)
諸会費	47,000	34,152	0	ひろば全協、虐待防止学会参加費
備品費	180,000	1,161,608	0	WAM(アニメーション、PC)
委託料	3,296,000	1,178,750	0	WAM(HP改訂、動画制作、終了証送付他)
保険料	15,000	0	0	
過年度損益修正損		0	15,000	部門変更
期首棚卸高		0	392,978	冊子
期末棚卸高		0	1,238,806	冊子
事業費支出小計	9,474,181	7,422,174	201,227	
II, 管理費				
旅費交通費	5,000	0	0	
通信費	38,000	43,214	0	会員案内、ドメイン・サーバー使用料他
謝金	180,000	174,000	0	事務局(理事2名、会計補助2名)活動協力謝金
会場借料	0	0	0	
制作費	90,000	30,000	0	新ロゴマーク
消耗品費	10,000	1,393	0	FAXリボン
会議費	20,000	0	0	
支払手数料	146,000	145,232	0	商標登録出願費用、振込手数料
法人税等	0	0	17,600	法人税、地方法人税
法人住民税	22,000	0	73,000	法人県民税、法人市民税
法人事業税等	0	0	5,000	法人事業税、地方法人特別税
租税公課	113,800	114,250	183,500	商標権取得費用、過年度法人税等
備品費	0	0	0	
予備費	10,000	0	0	
管理費支出小計	634,800	508,089	279,100	
支出合計	10,108,981	7,930,263	480,327	

2020年度の収入-支出

1,742,845

213,721

2019年度より繰越金

1,518,986

-221,709

項目	2020年度予算	2020年度決算		備考
		収益外	収益	
次期繰越金	1,438,806	3,261,831	-7,988	
		3,253,843		

## 正味財産増減計算書

自 2020年4月1日 至 2021年 3月31日

単位:円

(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1	資産増加額		1,956,566
2	負債減少額		0
	増加額合計		1,956,566
正味財産減少の部			
1	資産減少額	当期収支差額	0
2	負債増加額		0
	減少額合計		0
	当期正味財産増加額(減少額)		1,956,566
	前期繰越正味財産額		1,297,277
	当期正味財産合計		3,253,843

## 貸借対照表

2021年 3月31日現在

単位:円

資産の部		負債の部	
【流動資産】		【流動負債】	
現金及び預金	2,194,974	未払法人税等	95,600
商品	1,238,806	前受金	16,000
前払金	12,083	未払金	80,420
流動資産合計	3,445,863	流動負債合計	192,020
		負債の部合計	192,020
		正味財産の部	
		【一般正味財産】	
		前期繰越正味財産	1,297,277
		当期正味財産増加額	1,956,566
		一般正味財産合計	3,253,843
資産の部合計	3,445,863	正味財産の部合計	3,253,843
資産合計	3,445,863	負債及び正味財産合計	3,445,863

監査報告書

一般社団法人 日本多胎支援協会

代表理事 布施 晴美 様

2021年 5月 30日

監 事 吉井 一美 

監 事 高山 ゆき子 

私たち監事は、一般社団法人日本多胎支援協会の2020年度(第12期)の事業運営及び会計事務を監査した結果、当法人の運営及び事務処理は適正になされており、事業報告書及び収支決算書は、正確であることを認めます。

以上

役割	氏名	所属・役職
代表理事	布施 晴美	十文字学園女子大学 教育人文学部 心理学科 教授
理事	糸井川 誠子	NPO法人ぎふ多胎ネット 理事長/多胎児サークルみど・ふぁど
	大岸 弘子	おおさか多胎ネット 幹事/ひょうご多胎ネット 幹事/ツインマザーズクラブ 役員
	太田 ひろみ	(元)杏林大学保健学部看護学科 教授 / 多摩多胎ネット 代表
	大高 恵美	日本赤十字秋田看護大学 看護学部看護学科 准教授/あきた多胎ネット 理事
	落合 世津子	大阪大学大学院ツインリサーチセンター 招へい教授/おおさか多胎ネット 代表
	玄田 朋恵	NPO法人いしかわ多胎ネット 理事/ 多胎育児サークルピーナッツ・キッズ・クラブ 代表
	佐藤 喜美子	(元)杏林大学 准教授
	志村 恵	金沢大学 国際学類 副学長 / NPO法人いしかわ多胎ネット 理事
	田中 輝子	NPO法人ホームスタート・ジャパン 理事/埼玉ホームスタート推進協議会 事務局
	天羽 千恵子	ひょうご多胎ネット 代表/多胎児子育て支援グループマミーベアーズ
	中原 美智子	NPO法人つなげる 代表理事/(株)ふたごじてんしゃ 代表取締役
	服部 律子	岐阜県立看護大学 看護学部 教授/NPO法人ぎふ多胎ネット
	日下田 貴政	京都新聞社 記者
	平石 皆子	山形県立保健医療大学 准教授
	松葉 敬文	岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 准教授
松本 彩月	金城学院大学 非常勤講師/一般社団法人あいち多胎ネット理事	
村井 麻木	ツインズクラブ久留米 代表/ファミリー・サポート・センターくるめ	
監事	高山 ゆき子	しずおか多胎ネット 代表/ 多胎児サークルころころピーナッツ・プレころピーナッツ 代表
	吉井 一美	北九州市多胎児の会ツインスタークラブ 代表
顧問	加藤 則子	十文字学園女子大学 教育人文学部 幼児教育学科 教授
	末原 則幸	(元)大阪府立母子保健総合医療センター 副院長
	杉浦 祐子	ツインマザーズクラブ 会長
	間宮 静香	緑オリーブ法律事務所

## 2021年度活動計画 (案)

月	事業 (月日/開催地または開催方法) ◇:キリン福祉財団助成事業	年間
4月	・ 打ち合わせ (14日/厚生労働省) 訪問 (14日/女性労働協会) ・ 第1回理事会 (17日/zoom)	JpMBA NEWSの配信 (年4回+α)  立ち上げ支援  情報提供  講師派遣  【主催講座】 《母子保健・子育て支援 行政担当者、子育て支援 団体等向け講座》 7/19 10/24 1/14  《子育て支援者向け 多胎支援講座》 9/23 11/3 2/23  《妊娠期からの多胎 ファミリー教室運営講座》 4/24 7/24 7/25 8/7 10/23 1/29  《ピアサポート支援講座》 随時申込制 6/20 7/3 7/16  《看護職向け多胎支援 研修講座》 7/31、1月(日未定)  【ZOOMでしゃべり場】 月1回程度
5月	・ 子育て支援者向け研修会 (30日/zoom)	
6月	・ 第1回「しゃべり場」 (12日/zoom) ・ 第2回 産前産後サポート事業活用推進WEB講座 (1-30日/申込受付) ・ 第2回理事会 (26日/zoom) ・ 第12回通常総会 (26日/zoom) ◇:ポケットブック作成	
7月	・ 第2回 産前産後サポート事業活用推進WEB講座(1-15日/WEB配信)	
8月	・ 第3回理事会(20日/zoom)	
9月		
10月	◇ 第11回全国フォーラム(31日/宮城県仙台市・zoom)	
11月		
12月	・ 日本子ども虐待防止学会第27回学術集会 かながわ大会 (4-5日/神奈川県・オンライン)	
1月	・ 日本双生児研究学会参加 (17日/名古屋 or zoom) ・ 第4回理事会 (18日/名古屋 or zoom)	
2月	・ 「ツイズデーに乾杯」(22日・JAMBA設立記念日)	
3月		

第5号議案

2021年度(第13期)収支予算(案)  
(2021年4月1日~2022年3月31日)

一般社団法人 日本多胎支援協会

収入の部

単位:円

項目	2020年度決算		2021年度予算		備考
	収益外	収益事業	収益外	収益事業	
会費収入					
正会員会費	290,000	0	350,000	0	10,000円×35名
賛助会員会費	273,000	0	390,000	0	団体会員15団体、WEB会員80名
会費収入小計	563,000	0	740,000	0	
助成金収入	1,000,000	0	1,000,000	0	(公財)キリン福祉財団
	7,038,000	0	0	0	(独行)福祉医療機構(WAM)
賛助	870,000	0	500,000	0	
冊子収入		301,070	0	885,000	
雑収入	102,100	0	0	0	依頼講座謝金
過年度損益修正益	15,000	392,978	0	0	過年度損益修正 & 部門変更
参加費収入	85,000	695,000	695,000	0	自主講座受講料
受取利息	8	0	10	0	
収入合計	9,673,108	1,389,048	2,935,010	885,000	

支出の部

項目	2020年度決算		2021年度予算		備考
	収益外	収益事業	収益外	収益事業	
I. 事業費					
旅費交通費	8,380	0	383,000	0	全国フォーラム、学会他
通信費	816,662	26,320	35,480	74,000	資料送付、冊子送付
謝金	2,739,680	0	170,046	0	自主講座講師謝金
会場借料	0	0	45,000	0	全国フォーラム
制作費	873,290	1,003,200	24,000	611,160	全国フォーラムチラシ・資料、ポケットブック
消耗品費	98,718	1,215	30,000	2,000	事務用品
会議費	1,589	0	19,000	0	弁当、茶菓子
支払手数料	17,370	1,320	4,400	5,720	
賃金	0	0	0	0	
雑役務費	491,975	0	65,800	0	ZOOM・Google利用料
諸会費	34,152	0	36,000	0	ひろば全協、ICOMBO、虐待防止学会参加費
備品費	1,161,608	0	0	0	
委託料	1,178,750	0	0	14,000	冊子発送
保険料	0	0	0	0	
過年度損益修正損	0	15,000	0	0	
期首棚卸高	0	392,978	0	1,238,806	冊子
期末棚卸高	0	1,238,806	0	1,312,606	冊子
事業費支出小計	7,422,174	201,227	812,726	633,080	
II. 管理費					
旅費交通費	0	0	5,000	0	
通信費	43,214	0	42,512	0	会員案内、ドメイン・サーバー使用料他
謝金	174,000	0	300,000	0	事務局(理事2名、会計補助2名)活動協力謝金
会場借料	0	0	0	0	
制作費	30,000	0	0	0	
消耗品費	1,393	0	10,000	0	事務用品
会議費	0	0	3,000	0	
支払手数料	145,232	0	2,200	0	振込手数料
法人税等	0	17,600	0	41,000	法人税、地方法人税
法人住民税	0	73,000	0	74,500	法人県民税、法人市民税
法人事業税等	0	5,000	0	11,700	法人事業税、地方法人特別税
租税公課	114,250	183,500	30,000	0	商標権更新費用積立(定額預金)
備品費	0	0	74,855	0	弥生会計ソフト
委託費	0	0	120,000	0	HP保守契約
予備費	0	0	0	0	
管理費支出小計	508,089	279,100	587,567	127,200	
支出合計	7,930,263	480,327	1,400,293	760,280	

項目	2020年度決算		2021年度予算		備考
	収益外	収益	収益外	収益	
当該年度の収入-支出	1,742,845	213,721	1,534,717	124,720	
前年度繰越金	1,518,986	-221,709	3,261,831	-7,988	
次期繰越金	3,261,831	-7,988	4,796,548	116,732	
	3,253,843		4,913,280		

**【賛助会員:多胎家庭会員および一般会員の会員種別及び会費変更について】(案)**

《変更点》

- ① 賛助会員の「一般会員」と「多胎家庭会員」を統合し、「WEB 会員」とする。
- ② WEB 会員の会員資格は、会費振り込み日より1年間(12か月間)とする。
- ③ WEB 会員の会費は、オンライン決済とする。(クレジットカード、銀行振込、電子マネーに対応。)

～2020			2021年～			
会員種別	会費		会員種別	会費(円)	徴収方法	会員期間
正会員	10,000		→ 正会員	10,000	振込	振込日～翌年度4/30
賛助会員	団体	10,000	→ 賛助会員	10,000		
	多胎家庭	3,000	→ WEB会員	3,000	ウェブ徴収	振込日～1年間
	一般	5,000	→			

《延長する会員特典》

- ① 「JpMBA NEWS」を、年間4回以上送付
- ② 当協会主催のセミナー・研修会などの割引優待。
- ③ 立ち上げ支援などの相談受付(随時)
- ④ 当協会発行冊子購入での送料・手数料無料

《新たな会員特典》

総会承認後、7月1日より、すべての会員の方に下記特典が追加。

- ⑤ 会員専用ページ掲載のコンテンツの閲覧
- ⑥ オンラインでの「しゃべり場」への参加  
 ※しゃべり場：会員限定の井戸端会議的な交流の場。

《移行期の措置》

- ・すでに2021年度分年会費振込済みの「賛助・多胎家庭会員」については、会員専用ページを閲覧可能となる様に協会側で手続きをする。
- ・2020年度の「賛助・多胎家庭会員」及び「賛助・一般会員」の、2021年度からの「WEB 会員」への移行については、総会での承認後、7月1日よりHPの「会員案内」のページにある「ご入会申し込みフォーム」からの登録を案内する。
- ・移行期の対応として、2020年度の多胎家庭会員と一般会員の下記①～④の会員特典については、7月末まで延長して適用する。

# 令和2年度 計画助成事業実施報告書

令和3年4月17日

公益財団法人 キリン福祉財団 御中

(〒651-2242)

住 所 兵庫県神戸市西区井吹台東町3-2-8-202

団 体 名 一般社団法人日本多胎支援協会

印

代 表 者 布施 晴美

印

T E L 078-992-0870

F A X 078-992-0870

貴財団より助成を受けた事業について、下記の通り実施報告をいたします。

1. 事業名	どこでも安心して多胎児を産み育てられる環境づくりのためのステップアップ事業
2. 事業目的	適切な情報が得られず、社会的に孤立し、ともしれば虐待や育児不安に陥りがちな多胎家庭が、地域格差なく安心して妊娠・出産・育児を行える環境づくりを推進する。
3. 事業概要	今年度は、全国フォーラムと冊子の制作の2つの内容で申請したが、コロナ禍のために全国フォーラムは開催できず、下記3冊の冊子を制作し、各1000冊を印刷した。 1. ふたごポケットブックシリーズ ① NO.2「なぜふたごは小さく生まれるのか～その特徴とケア～」 ② NO.5「フレーフレーお母さん！フレーフレーお父さん！ ～ふたごからお母さんお父さんに伝えたいこと～」 2. 「ふたご・みつご子育てガイドブック～ふたご・みつごを安心して産み育てるために～」
4. 事業時期内容	4月～7月 ふたごポケットブックの企画 5月 全国フォーラムの延期を決定 8月～ ふたごポケットブックシリーズ 執筆開始 9月～ 「多胎ファミリー教室テキスト」の改訂を決定 10月～ 「多胎ファミリー教室テキスト」改訂版の執筆開始 12月 ふたごポケットブックシリーズNO.5 校了 2月 ふたごポケットブックシリーズNO.2 校了 ふたごポケットブックシリーズ2刊の印刷・発行 3月 「多胎ファミリー教室テキスト改訂版」を「ふたご・みつご子育てガイドブック～ふたご・みつごを安心して産み育てるために～」と名称を決定、印刷・発行
5. 事業成果	昨年度3冊を発行した「ふたごポケットブックシリーズ」では、欠番となっていたNO.2と、新刊のNO.5を発行することができた。 NO.2「なぜふたごは小さく生まれるのか～その特徴とケア～」では、約7割が低出生体重児として生まれる多胎児の特徴とケアについてまとめ、多胎児の親の心情に寄り添い、不安を払拭する内容となっている。 NO.5「フレーフレーお母さん！フレーフレーお父さん！～ふたごからお母さんお父さんに伝えたいこと～」は、自身が双子である理事が、多胎児の親が抱きやすい悩みについて、多胎児本人の視点から応える形で執筆し、ともしれば重くなりがちな多胎児の親の気持ちを軽くしてくれる内容となっている。  「ふたご・みつご子育てガイドブック～ふたご・みつごを安心して産み育てるために～」は、2014年の貴助成事業のなかで制作した「多胎ファミリー教室テキスト」を、ファミリー教室だけではなく、当協会の多胎支援のための汎用テキストとなる冊子として見直し、改訂したものである。多胎妊婦から支援者までをカバーする、多胎の妊娠・出産・育児に必要な基礎知識を得るための1冊となっている。  もともと外出困難となりがちな多胎家庭であるが、コロナ禍ではさらにその孤立化が進んでいる。
6. 今後の計画	コロナ禍のもと、冊子制作の作業も大幅に遅れ、年度末ギリギリの発行となってしまったが、各地の自治体に活用していただけるよう広報したいと考えている。 延期とした全国フォーラムについては、令和3年度の貴助成により、秋に仙台市で開催する予定である。

# 令和2年度 会計収支報告書

令和 3年 4月17日

団体名 一般社団法人日本多胎支援協会 印

## 収入の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	麒麟福祉財団助成金	1	0	0	0	0	0	
2	自己資金			4	5	2	0	
3								
4								
5								
6								
	(A) 合 計	1	0	0	4	5	2	0

## 支出の部

	項 目	金 額						備 考
		十 万	万	千	百	十	円	
1	制作費	1	0	0	3	2	0	ふたごポケットブック@203,500×2冊、
2	その他			1	3	2	0	支払手数料 @440×3
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10	雑 費						0	上記以外のもの
	(B) 合 計	1	0	0	4	5	2	0

- ① 支出の部の項目は、その内容を示す項目名称に区分してください。(消耗品費、謝礼金、交通費等)
- ② (A)と(B)の金額は一致させてください。
- ③ 支出項目の金額と、その項目の領収書の合計金額とを一致させてください。
- ④ 領収書を添付して下さい。領収書は原則、原本です。添付については、別紙作成例をご覧ください。
- ⑤ 備考欄には、決算金額の算出根拠(具体的な品名・単価・数量など)について明記してください。

## 事業実績 (WAM助成)

(1) 団体名	一般社団法人日本多胎支援協会				
(2) 事業概要及び事業成果	<p>■事業概要(250字～300字程度)⇒<b>です・ます</b>調でご入力ください。WAM助成ホームページに掲載されます。</p> <p>本協会は、日本中どこでも安心して多胎を産み育てることができる社会の実現を目指しています。そのためには地域の多胎家庭支援力の向上を図る必要があります。そのため、自助を担う多胎育児の当事者や当事者サークルのリーダー、共助を担う地域の身近な支援者、ならびに公助を担う医療専門職や行政担当者等が、妊娠期から育児期の多胎養育者の現状や気持ちを知り、隙間のない積極的な支援を考え、それぞれの役割において「すぐに使える」実践的で正確な支援知識を得ることで虐待防止に寄与することを目的に、研修会ならびに当協会のHPのコンテンツを充実する事業を実施しました。</p> <p>■事業成果(150字～200字程度)⇒<b>です・ます</b>調でご入力ください。WAM助成ホームページに掲載されます。</p> <p>地域の様々な育児支援者が、本助成の研修動画や育児関連動画を視聴することによって、多胎育児家庭の現状を理解し、多胎の具体的な育児方法等を知り、より共感的な支援を提供できるようになります。それは即ち多胎家庭の孤立の防止や虐待の防止につながります。また、国の施策である「多胎ピアサポート事業」「多胎妊産婦サポーター等事業」に関わる自治体や支援者に、正確で具体的な情報を提供することができました。</p>				
	<p>助成事業で作成した成果物(報告書やチラシ等)を全てご入力ください。他事業のものはご入力しないでください。</p>				
	<p><input checked="" type="checkbox"/> 「事業成果物等著作物 掲載にかかる条件について」 ← 上記リンクをクリックしご一読されましたら、左のプルダウンに<input checked="" type="checkbox"/> チェックをおつけください(同文:手引きP.47)</p>				
	<p>↓ 形態・許諾・個人情報対応は、プルダウンでご選択ください。</p>				
	<p>※1 形態:その他は、マスコミ等での掲載記事の写しや、文字や数値では伝えにくい実施内容・成果に関する活動写真等を指します。</p> <p>※2 個人情報対応は、成果物に顔写真や個人名等の個人情報が含まれる場合、その方(未成年者は、本人と保護者)からの許諾や、モザイク等の画像処理を要します。それらの対応が済みませんでしたら「済」をお選びください。個人情報がない場合は「個人情報なし」をお選びください。</p>	No.	形態 ※1	成果物タイトル(事業完了報告書にご入力済みのものも、改めてご入力ください。)	許諾
	1	HP(URL)	http://jamba.or.jp/	する	済
	2	報告書	「明日から使える！多胎育児家庭支援のためのWEBコンテンツ」	する	済
	3	チラシ	研修会用WEBチラシ「明日から使える！オンライン多胎支援研修事業」	する	済
<p>WAM助成ホームページ「電子図書館(e-ライブラリー)」に掲載する際のご連絡先について 下記プルダウンでどちらかご選択ください。ご変更の際は、下記欄にご入力ください。WAM助成ホームページに掲載されます。</p>					
<p><input checked="" type="checkbox"/> 「事業完了報告書」の住所・TEL、申請時のURLと同様(下記の住所・TEL・URLのご入力は不要です。)</p>					
(3) 申請時の実施計画と実績について(アウトプット)	<p>実際に取り組んだ事業内容を、申請時の柱立て毎にご入力ください。</p>				
	<p>柱立て(名称):1 「明日から使える！多胎育児家庭支援者研修」</p>				
	申請時内容	事業完了時			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請時に計画した「実施内容」と「数値目標」をご入力ください。</li> <li>・申請書からコピーいただいても結構です。</li> <li>・申請後に事業計画の変更申請を行った場合は、変更後の内容をご入力ください。</li> </ul>	<p>左記の申請時内容で立てた「数値目標」の達成状況をご入力ください。</p>			
<p>①申請時の計画内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の支援者に向けたWEB研修会。多胎育児の状況について講義やインタビュービデオ等を用いたオンデマンド方式での共通の基礎講座(約20分×4テーマ)を受講したあと、受講者の支援形態(ニーズ)によって3分科会(a.施設等での相談援助型支援、b.家庭への訪問や同行型支援、c.当事者サークル等でのピアサポート型支援)のいずれかの講習を受講する。分科会については、講義形式(各分科会約20分)とともに双方の展開を含め、リアルタイム形式の講習会(40分)とする。</li> <li>・講師の講演等については撮影し、HPのコンテンツとして活用。参加できない支援者への情報提供とする。</li> <li>・外部委員に研修に参加してもらい、効果について評価・検討を行う。</li> <li>・評価のためのルーブリックを作成し、研修直後と、研修の3カ月後に、参加者に対してネットでのアンケート調査を実施する。(ただし、研修会の実施時期が申請時よりも後方にするため、3カ月後のアンケートの収集と分析は来年度に行う。そのため、本助成事業での経費は計上していない。)</li> </ul> <p>②日時(回数)</p> <p>3回</p> <p>③場所</p> <p>WEBによる受講。受講可能地域は全国。(配信は、当協会事務局、及び各講師の職場や自宅等。)</p> <p>④対象者の層及び延べ人数</p> <p>自治体の子育て支援者・施設等での相談援助型支援(子育て支援拠点スタッフ、保健センター相談支援等)・家庭への訪問や同行型支援(産前産後ヘルパー、ファミリーサポートセンター事業提供会員、民生児童委員、ホームスタート関係者等)・当事者サークル(多胎育児サークルリーダー、多胎育児当事者等)(延べ135名)</p>	<p>①実施した事業の状況</p> <p>1「多胎に関する基礎知識」について、オンデマンド方式での共通の基礎講座(約15分×3テーマ)を受講。レポートを提出する。</p> <p>2 1に参加した者に「支援場面ごとの基礎知識」のURLを配信。オンデマンド方式で3分科会(a.施設等での相談援助型支援、b.家庭への訪問や同行型支援、c.当事者サークル等でのピアサポート型支援)のいずれか、あるいは複数の講習を受講。レポートを提出する。</p> <p>3 上記1と2を受講しレポートを提出した者が、研修への質疑応答日としてリアルタイム形式の講習会(30分間)に参加。その後アンケートを提出する。</p> <p>4 2カ月後を目途に、研修が多胎支援に結び付いたかどうかのアンケートを実施</p> <p>5 1と2のレポートを提出した者に、修了証を発行。</p> <p>・講師の講演等については撮影し、HPのコンテンツとして活用。</p> <p>・外部委員に研修に参加してもらい、効果について評価・検討を行った。</p> <p>②日時(回数)</p> <p>3回</p> <p>第1日程 11月18日～12月1日 質疑応答日 12月2日 20名 第2日程 11月24日～12月7日 質疑応答日 12月8日 31名 第3日程 12月5日～12月18日 質疑応答日 12月19日 55名</p> <p>③場所</p> <p>WEBによる受講。受講可能地域は全国。(配信は、当協会事務局、及び各講師の職場や自宅等。)</p> <p>④対象者の層及び延べ人数</p> <p>医療関係者(24名)、行政関係者(39名)、多胎サークル関係者(27名)、多胎家庭の方(6名)、民間子育て支援者(11名)のべ107名</p>				

<p><b>目標を達成できた場合はそのポイント(事業実施の過程で工夫した点や連携体制等)を具体的にご入力ください。未達成の場合は、その理由や見えてきた課題を具体的にご入力ください。</b></p> <p>①新型コロナウイルス対応のため、研修も集合型ではなく、WEB研修とした。そのことで全国の、また多様な支援者に配信することができた。②本団体のWEB研修会の運営経験が浅かったため、回数を追うごとに参加者を増やし、参加者全体の様子や手ごたえを確かめながら実施した。③WEB研修会実施にあたり、当初はZOOMによる集合研修を考えていたが、参加者の参加しやすさを考慮し、「多胎に関する基礎知識」3本、ならびに「支援場面ごとの基礎知識」3本をオンデマンドとした。④質疑応答日は集合研修として「支援場面ごとの基礎知識」の研修3本に合わせて、30分×3本を休憩を挟んで続けて実施した。参加者の質問に対し講師が答えたが、お互いの質問を聞き合うことでさまざまな支援について理解を深めることができた。</p>	
<p><b>柱立て(名称):2</b> 「HP版 明日から使える!多胎育児支援の基礎知識」の作成</p>	
<p><b>申請時内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請時に計画した「実施内容」と「数値目標」をご入力ください。申請書からコピーいただいても結構です。</li> <li>申請後に事業計画の変更申請を行った場合は、変更後の内容をご入力ください。</li> </ul>	<p><b>事業完了時</b></p> <p>左記の申請時内容で立てた「数値目標」の達成状況をご入力ください。</p>
<p><b>①申請時の計画内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習・研修用コンテンツを提供するためのHPを作成し、HP上の動画学習・研修コンテンツ「明日から使える!多胎育児支援のための基礎知識」を作成し、提供する。</li> <li>自助、共助、公助のそれぞれの立場で必要とされる情報を、講義形式、解説形式、インタビュー形式等で作成し、提供する。</li> <li>学術的に裏打ちされた信頼性の高い情報の提供とともに、誤解・噂レベルの情報に対する警鐘となるものを目指す。</li> <li>外国籍の多胎家庭のための多言語対応ページも併せて構築する。</li> </ul> <p><b>②日時(回数)</b> 5月~11月の間で、撮影日は最大25日間</p> <p><b>③場所</b> 当協会HP</p> <p><b>④対象者の層及び延べ人数</b> 医療関係者、行政関係者、子育て支援者、多胎サークル、多胎家庭等</p> <p>講義形式のコンテンツは、受講者各回30~60名に配信。それ以外は、1名(個人による視聴を想定。対象は限定せず、HPにアクセス可能な者は誰でも視聴可能とする。) HPへの来訪者数 1日200以上</p>	<p><b>①実施した事業の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習研修用コンテンツを作成した。</li> <li>《講義形式》「多胎に関する基礎知識」3本、「支援場面ごとの基礎知識」3本、《インタビュー形式》「多胎育児当事者インタビュー」36本、《解説形式》「双胎間輸血症候群と類縁疾患」2本、「多胎育児のコツと心得」8本</li> <li>作成した動画コンテンツをすべてHP上にUPLした。</li> <li>多言語については、英語に翻訳される様設定した。</li> </ul> <p><b>②日時(回数)</b> 作成期間は6月~3月</p> <p><b>③場所</b> 当協会HP</p> <p><b>④対象者の層及び延べ人数</b> 医療関係者、行政関係者、子育て支援者、多胎サークル、多胎家庭等</p> <p>講義形式の動画コンテンツは研修会受講者のべ107名に配信した。講義形式、インタビュー形式、解説形式の動画コンテンツは、3/12にHPIにUPLした。各動画の再生回数は、4/28現在、平均400回である。4月のHPへの1日のアクセス数は平均350人。</p>
<p><b>目標を達成できた場合はそのポイント(事業実施の過程で工夫した点や連携体制等)を具体的にご入力ください。未達成の場合は、その理由や見えてきた課題を具体的にご入力ください。</b></p> <p>①わかりやすく正確な知識が伝わる動画コンテンツになるよう各チームや全体で話し合いを重ねながら作成した。②特に医学的な知識が必要な動画2本に関しては、専門的な知識と経験がある産科医(杏林大学医学部谷垣伸治氏)の監修と、世界的に知見のあるUniversity College London EGA (Elizabeth Garrett Anderson) Institute for Women's Health、UCLの学際総合先端医療技術研究プロジェクトであるGift-Surgの協力を得て作成できた。</p>	
<p><b>柱立て(名称):3</b> 事業実行委員会、ならびにチーム会議の開催</p>	
<p><b>申請時内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請時に計画した「実施内容」と「数値目標」をご入力ください。申請書からコピーいただいても結構です。</li> <li>申請後に事業計画の変更申請を行った場合は、変更後の内容をご入力ください。</li> </ul>	<p><b>事業完了時</b></p> <p>左記の申請時内容で立てた「数値目標」の達成状況をご入力ください。</p>
<p><b>①申請時の計画内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業の円滑な運営、ならびに開催地域の強みを活かした効果的な支援についての検討し、本事業の円滑な運営のため「全体会」と「チーム会議」及び「企画委員会」を立て、プログラム作成と運営打合せを行う。</li> <li>外部委員2名を招聘し、研修内容の検討や効果測定と事後評価について示唆を得る。</li> <li>外部委員を含む「事業評価会」を開催する。</li> <li>COVID-19感染に関わる自粛が解除となるまでは、WEB会議システム等を利用した会議を行う。自粛解除後は、必要に応じて対面式の会議を行う。</li> <li>事業チームは、長距離移動を減らすよう在住地等を考慮し、東京(関東)、名古屋(中部)、大阪(関西)の3つと、HP改訂チームの合計4つとする。(※今年度は受講者の対象地域を限定しないWEB研修とするため、この項目は削除する。)</li> </ul> <p><b>②日時(回数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体会 4回 (4月(2回)、8月、1月)</li> <li>東京チーム会議 5回 (4月、8月、11月、1月)</li> <li>名古屋チーム会議 6回 (4月、5月、8月、11月、1月)</li> <li>大阪チーム会議 8回(4月、5月、6月、7月、8月、11月、1月)</li> <li>HPチーム会議 10回(5月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月)</li> <li>企画委員会 10回 (4月3回、5月、6月、7月、9月、10月、11月、2月)</li> <li>事業評価会 1回 1月</li> </ul> <p><b>③場所</b></p>	<p><b>①実施した事業の状況</b></p> <p>本事業の円滑な運営のため、以下のWGチームを作り、WEB会議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WAM実行委員会(全体会)</li> <li>事業評価会</li> <li>事業準備会議兼報告書会議</li> <li>企画委員会</li> <li>研修会WG 東京部会、名古屋部会</li> <li>育児コンテンツ大阪部会</li> <li>当事者インタビューWG</li> <li>TTTSと類縁疾患アニメーションWG</li> <li>報告書WG</li> </ul> <p><b>②日時(回数)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>WAM実行委員会(全体会)5回</li> <li>事業評価会 1回</li> <li>企画委員会(事業準備会議兼報告書会議) 8回</li> <li>研修会WG 4回 東京部会3回、名古屋部会2回</li> <li>育児コンテンツ大阪部会 31回</li> <li>当事者インタビューWG 1回</li> <li>TTTSと類縁疾患アニメーションWG 1回</li> <li>報告書WG 2回</li> <li>事務実務担当 5回</li> </ul> <p><b>③場所</b></p>

	<p>・全体会 WEB会議3回、東京1回 計4回(予定)          ・チーム会議 東京・名古屋・大阪でチーム毎に開催 (WEB会議も併用する)          HPチーム (WEB会議)          ・企画委員会 WEB会議          ・事業評価会 東京(1回)</p> <p><b>④対象者の層及び延べ人数</b>          当協会理事(19名)、外部評価委員(2名)、委託先の担当者</p>	<p>WEB会議による</p> <p><b>④対象者の層及び延べ人数</b>          当協会理事(19名)、外部評価委員(2名)、医療的映像監修者(1名)、映像作成協力(2名)</p>															
<p><b>目標を達成できた場合はそのポイント(事業実施の過程で工夫した点や連携体制等)を具体的にご入力ください。未達成の場合は、その理由や見えてきた課題を具体的にご入力ください。</b></p>																	
<p>①新型コロナウイルス対応のため、ほとんどをWEB会議とした。②動画コンテンツ作成等の対面撮影が必要な場合は、感染対策を十分に配慮した上で行った。③WEB会議の開催にあたり、できるだけわかりやすい会議資料を事業準備会で用意し、短時間で出席者が情報共有できるよう務めた。</p>																	
<p>(4) 新型コロナウイルス感染症について</p>	<p><b>新型コロナウイルス感染症に対する工夫(新しい取り組みの創出や既存の仕組み等の変革に対応するもの)や、事業を進めるうえで困難だった点があればご入力ください。上段(3)の各柱立てでご入力いただいている場合は、入力不要です。</b></p> <p>当協会のこれまでの知見により集合研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の視点から、集合研修は開催を断念。その代わりに「研修」「双胎間輸血症候群と類縁疾患」などの正確な知識の伝達が必要な内容、また「多胎育児当事者インタビュー」や「多胎育児のコツと心得」のようなわかりにくい多胎育児についても、WEBコンテンツとして作成し、HP上への掲載や配信することができた。</p>																
<p>(5) 成果普及に向けた取り組み</p>	<p><b>成果普及に向けた取り組みで、実施したものをプルダウンでご選択のうえ、具体的な内容をご入力ください。</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>【成果報告書の作成・配布】</b> ①作成部数 ②配布先 等</p> <p>①作成部数 14000部 ②配布先 ・全国自治体(1952カ所) ・看護系大学(304カ所) ・看護協会(48カ所) ・助産師会(47カ所) ・保健所(468カ所) ・保健センター(2292カ所) ・当団体関係者(157カ所) ・ひろば全協(1500カ所)、ホームスタートジャパン(100カ所)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>【成果報告会の開催】</b> ①実施した内容 ②実施日(回数)③実施場所 ④対象者・数 等</p> <p>①事業内容の報告 ②2月20日(日) ③WEB開催 ④当協会理事、外部評価委員 21名</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> <b>【その他】ホームページ、SNS、メールマガジン、広報誌 等</b></p> <p>HPの改訂、Facebookやメールマガジンでの配信</p>																
<p>(6) 事業実施によって得られた成果(アウトカム)</p>	<p><b>① 事業の対象者等どのようなニーズを、どのように把握したか(例:アンケート・インタビュー・日々の記録 等)ご入力ください。</b>          提供した研修やコンテンツ等が、実際の多胎家庭への支援に活用できるものであったかどうかを、参加者アンケートによって把握した。また、「報告書」送付後には、「報告書の情報を多胎家庭に周知してもよいか」「リンクを貼ってもよいか」といった問い合わせ等が事務局に寄せられており、提供したようなコンテンツが必要とされていたことを確認できた。</p> <p><b>② 上記①のニーズに対し、どのような成果(変化・内容等)が得られたかを、どのように把握したかご入力ください。</b>          研修講座への参加者アンケートでは、「多胎家庭の現状の理解の広がり」について、57%が「とても広がった」、41%が「広がった」と回答した。また、「多胎支援のヒントの発見」については、68%が「たくさん見つかった」、30%が「少し見つかった」と回答した。</p> <p><b>③ 今回の事業を実施したことで、関係機関にどのような影響や変化等がみられたかご入力ください。</b>          多胎家庭を支援しようとする自治体や団体に対し、わかりやすく正確な知識の提供により、多胎家庭支援のポトムアップにつながった。研修用動画を、多胎家庭への支援者研修会に利用したいといった連絡も寄せられている。多胎家庭への具体的な情報提供になることを歓迎され、報告書の追加送付希望も寄せられており、各支援者が多胎家庭への支援を意識し、実践しようとしていることを感じている。</p> <p><b>④ 当初計画で想定していなかった成果(変化等)がありましたらご入力ください。</b>          コロナ禍により、事業をほぼオンラインに変更した。その結果、集合研修では参加できなかったであろう全国の自治体や多胎支援関連団体関係者に対し、広く多胎についての基礎的な理解を促すことにつながった。          また、</p>																
<p>(7) 実績数値</p>	<p><b>事業の各柱立ての実績数値を合算してご入力ください。</b></p> <p><b>①「支援対象者向け事業」の対象者数</b></p> <table border="1" data-bbox="245 1576 1543 1653"> <thead> <tr> <th>全ての柱立て合算(実績値)</th> <th>申請時</th> <th>延べ人数</th> <th>実人数</th> <th>実人数のうち、</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「支援対象者向け事業」の対象者数</td> <td>90~180 人</td> <td>107 人</td> <td>86 人</td> <td>68 人</td> </tr> <tr> <td>上記対象者のうち、</td> <td></td> <td>62 人</td> <td>62 人</td> <td>45 人</td> </tr> </tbody> </table>		全ての柱立て合算(実績値)	申請時	延べ人数	実人数	実人数のうち、	「支援対象者向け事業」の対象者数	90~180 人	107 人	86 人	68 人	上記対象者のうち、		62 人	62 人	45 人
全ての柱立て合算(実績値)	申請時	延べ人数	実人数	実人数のうち、													
「支援対象者向け事業」の対象者数	90~180 人	107 人	86 人	68 人													
上記対象者のうち、		62 人	62 人	45 人													

# WAM事業 精算額計算書

団体名： 一般社団法人日本多胎支援協会

## ① 助成対象事業を実施するための経費

科目	金額(円)		完了時－要望時 (差額)	
	要望時	完了時		
01.謝金 ※1	1,075,488	2,597,936	1,522,448	
02.旅費	1,241,000	480	-1,240,520	
03. 所費合計	4,733,790	4,559,401	-174,389	
03.所費	3.賃金	246,000	0	-246,000
	4.家賃	0	0	0
	5.光熱水費	0	0	0
	6.備品購入費 ※2	180,000	1,161,608	981,608
	7.消耗品費	131,300	98,718	-32,582
	8.借料損料	555,000	0	-555,000
	9.印刷製本費	83,100	873,290	790,190
	10.通信運搬費	26,190	806,078	779,888
	11.委託費 ※3 16.5%	3,296,000	1,178,750	-2,117,250
	12.雑役務費	201,200	440,957	239,757
13.保険料	15,000	0	-15,000	
(a) 上記助成対象経費の合計	7,050,278	7,157,817	107,539	
(b) 対象外経費 <small>(対象外経費及びその他自己資金で賄う経費の合計)</small>	570,000	748	-569,252	
(A) 総事業費 (a) + (b)	7,620,278	7,158,565	-461,713	

## ② 助成事業にかかる収入(=自己資金)

科目	金額(円)		完了時－要望時 (差額)
	要望時	完了時	
助成事業における収入(参加費・利用料等)	67,500	0	-67,500
利息収入(助成事業専用口座利息)	0	0	0
寄付金・協賛金収入	0	0	0
一般会計繰入金	514,778	120,565	-394,213
(B) 寄付金その他の収入 ※	582,278	120,565	-461,713

※ 完了時は「(B) 寄付金その他の収入 ≥ (b) 対象外経費」としてください。

## ③ 助成金額の算定

総事業費 (A)	寄付金その他の収入 (B)	差引事業費 (A-B=C)	差引事業費 から 千円未満の 端数を	決定額 (E)	精算額 (DとEを比較 して少ない方 の額)(F)	返還額 (E-F)
7,158,565 円	120,565 円	7,038,000 円	7,038 千円	7,038 円	7,038 千円	0 千円